

スポーツ科学コース

『富士登山・青少年国際交流キャンプにボランティアの派遣』

趣 旨：本校スポーツ科学コースの目的の一つとしてスポーツ指導者の育成があります。外部団体や野外活動に参加し、ボランティア等を体験することにより、人と人との協力や自然との触れ合い、またその中で活動の大切さを学び、リーダーとしての資質を養い、今後の高校生活、将来への展望の糧となることを期待しています。

経 緯：スポーツ科学コースの特色ある取り組みの一環として、野外活動やボランティアへの参加を考えていました。縁があり、公益財団法人 国際青少年研修協会（KSKK）を紹介していただき、協会の目的、特色（キャンプを伴う野外活動、日本一であり世界遺産でもある富士山の登山、国際交流など）と本校スポーツ科学コース独自のボランティア活動に求めるものとが合致したため、ご協力をいただくことになりました。全国規模であるボランティア団体である KSKK でも、高校生を受け入れるのは初めての試みということもあり、関係職員が綿密な協議を重ねました。安全面を含め KSKK の万全の受け入れ体制を確認し、昨年度初めて本校スポーツ科学コースの生徒3名を派遣することとなりました。本年度は、継続事業として、スポーツ科学コースの生徒2名を派遣しました。

協力団体：公益財団法人 国際青少年研修協会（KSKK）HP <http://www.kskk.or.jp>
1973 年設立 国内外の青少年の共同生活・共通体験などの交流活動を通じて、互いを理解し合い交友を深めることを目的として、数多くのプログラムを実施している。現在までに4万人以上の青少年が参加している。

期 間：2015 年 8 月 3 日（月）から 8 月 6 日（木）まで（4 日間）

活動内容：本部スタッフ（リーダー）のサポート

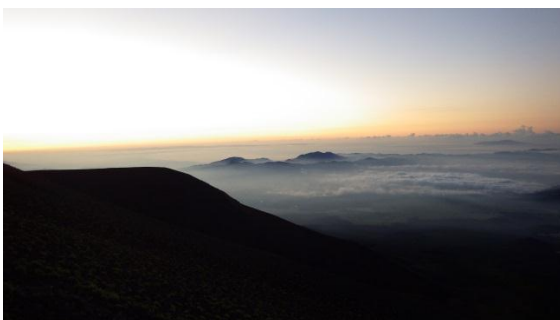
- ・ テントづくりの補助、食事作りの補助
- ・ 薪割の監視補助 他
- ・ ワイドゲーム（班単位のレク活動）を担当
- ・ キャンプファイヤーの補助
- ・ 富士山登山時に、インドネシアの学生と一緒に頂上を目指し登山

活動の様子：



野外活動の補助をする本校生徒 篠崎くんと亀下くん

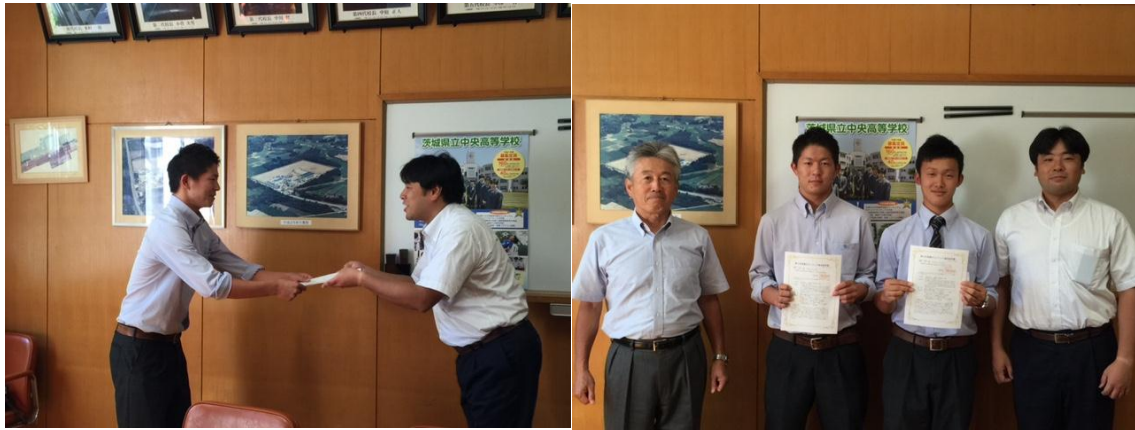
薪割りの指導（安全管理）をする亀下くん



富士山登山途中の雲海！当然、雲は下に見えます。 アクシデントを乗り越え富士山を制覇した篠崎くん



ともに“日本一（の富士山）を体験した瞬間”の記念写真です。



9月29日にKSKK事務局の関さんより、ボランティア証明書が手渡されました（本校応接室）。

【亀下くんの感想】

3日目の富士山登山では、インドネシアの子ども達と登りました。早朝からの登山は、体力だけでなく精神的にも苦しいものがありました。言葉のこともあり大変でしたが、雲が下に見えるころには、うちとけられ、協力して登ることができました。いくつかのアクシデントもありましたが、子ども達の達成感に満ちた顔をみているうちに、将来の夢であった教師への道が、より明確なものになった。

【篠崎くんの感想】

4日目は、みんなで朝食をとり、テントなど使用していた道具の片づけを行いました。この生活にもすっかり慣れ、スムーズに片づけることができました。しかし、これで終わりかと思うと、少し名残惜しい気持ちでした。それは、とてもこのキャンプが充実していたからだ実感しました。解散式では、各班のリーダーから話がありましたが、中には号泣してしまうリーダーもあり、その内容にはとても感動しました。こうしたいいリーダーに出会うことができよかったと思います。これからはここでの経験を生かし、活躍していきたいと思います。

【事務局の関さんのお話】

活動の中で、初めての経験にもかかわらず、どこにいて何をすればよいかを常に考えて行動し、我々のいてほしいポジションにいてくれました。多くのリーダーからも、すごく気の利く生徒さんであり、助かったという声がありました。短い期間ではありましたが、今回の青少年の国際交流にボランティアとして参加した経験が、今後の二人の成長の糧になることをKSKKも期待しています。